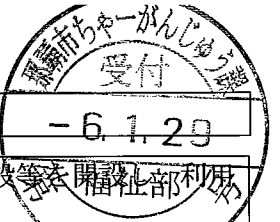


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表



法人名	医療法人 城南会	代表者	山根 邦夫	法人・事業所の 特徴	当法人には、重度認知症デイケアがあり、複数の小規模多機能型施設等を開設し利用者様の在宅生活支援に努めている。 当事業所は、民家を活用し、職員手作りによる食事の提供等、自宅生活の延長の場になるよう、家庭的な空間作りを目指して日々努めています。 又、ベランダからの眺望できる那覇市街や、庭の樹々は安らぎを与えてくれます。
事業所名	小規模多機能型施設 城西	管理者	川上 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	人	1人	2人	3人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員がテーマを探して講師になる勉強会を継続して行う。	・職員が講師になり毎月の勉強会を開催している。	・反省点、改善点、課題も含めて客観的にかつ具体的に評価されており、適切なプロセスでの自己評価がためされていると感じた。	・遠足等の野外活動再開に向けて取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所の外回りの美化に努める。	・事業所玄関前の清掃活動を実施している。	・しつらえや環境面に関しては致し方ない所もありマイナス面だけではないと思う、ソフト面や外部との関係構築で環境面のマイナスは補えると思った。	・事業所内外の環境担当を決めて5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を取り入れる。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域のイベントや活動に職員が分担して参加し、運営推進会議で報告する。	・ケア会議、自治会会議、見守り隊会議等職員で分担して参加している。	・これからも積極的に地域交流に取り組み運営推進会議で報告してほしい。 ・サテライトとも連携を計画してほしい。	・事業所前の清掃活動を行い地域の方に事業所を知ってもらう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の自宅での生活の様子を把握し包括支援センターとの連携を継続する。	・松川在住で独居の利用者様を包括松川と連携し支援している。	・山川町の見守り隊への同行などを通じて地域の高齢者の把握に努め地域での暮らしを支える事の寄与していると感じた。	・見守り隊活動を継続し、活動内容を毎月のミーティングで報告し、スタッフ全員で情報を共有する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・山川町の見守り隊活動や会議の内容を運営推進会議で報告する。	・見守り隊活動に職員が参加している。	・運営推進会議での意見を真摯に受け止め事業所運営に取り入れて行こうとする姿勢は感じることが出来る。 ・スタッフの参加により、事業所が活性化出来ている様に感じる。	・山川町の見守り隊活動の様子を運営推進会議で報告を継続する。